

思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u



つなぐ



3.11 を忘れない
今、わたしたちにできること

Vol. 22

2019年1月21日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将

5年目の1000人集会

なくそテ原発 2018 柏崎大集会

【日時】2018年9月16日(日)

【会場】柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホールほか

【内容】講演：「原発ゼロで日本経済は再生する」吉原毅さん、福島報告：渡部チイ子さん、演奏：たっつあん、運動報告と困難な情勢での決意(3団体より)、プラカード上げ、集会宣言採択、デモ行進

【主催】なくそテ原発2018 柏崎大集会実行委員会(当会含む新潟県の16団体と長野県の2団体、計18団体)

【協賛】首都圏反原発連合、原発をなくす全国連絡会、さようなら原発1000万人アクション

【全編動画】<https://iwi.co.jp/wj/open/archives/431685>

(「IWJ なくそテ原発2018」で検索。吉原さんの講演は23分あたりから)

上越地域からは大型バスなどで約140人が、全体で約1000人が参加しました(全体では昨年並みですが、上越地域は昨年の1.5倍の人数が参加)。花角新潟県知事は知事選にて「脱原発を目指します」と言いつつ、「今は原発は必要だ」とも言っています。花角知事に、検証後に「再稼働を認めない」と言ってもらうために、脱原発世論をさらに高めましょう。そのためには「経済のためには原発は必要」と思っている人を説得しなくてはなりません。メイン講演では城南信金相談役でもある吉原毅さんより新潟県の特徴を生かした具体的な経済再生の提案がなされました。(吉原さん講演の詳細は次ページ)

参加者1000人で「なくそテ原発」プラカード上げ



首都圏反原発連合
ミサオレッドウルフさん



原発をなくす全国連絡会
木下興さん



北村新さん たっつあん



植木史将
実行委員長



集会宣言読上げ
秋山芳美さん



線路を越えて初のコースで柏崎市街をデモ行進

なくそテ原発 2018 柏崎大集会 講演内容



城南信用金庫相談役
吉原毅さん

◎原発ゼロで日本経済は再生する

- 私も、まさか原発が壊れるなんて思ってもいなかった。福島事故の後、調べてみて、**原発は安全でクリーン、コストも安い、日本に必要というのは全部違うとわかった。**
- 専門家は、日本の原発は5重の防護をしているので放射能は漏れませんという。1番目の防護はペレット。これは**単なる入れ物**。2番目の防護はジルコンチューブ。これは**単なるケース**。3番目がお釜、炉。4番目が金属防護の格納容器。5番目がコンクリート建屋。そして実際、福島原発事故が起きた。
- 原発はフル稼働している場合は、この会場（1000人収容の大ホール）の半分の水量が**1秒で水蒸気にかわるほどの熱を出す**。稼働していなくてもフル稼働時の7%の熱が出るため、水で冷やし続ける必要がある。
- 海外の原発は軍隊が自動小銃をもって守っている**。しかし日本の原発はガードマンがいるだけだ。ピストルも持っていない。
- 放射性物質のホットスポットは、江戸川沿い、新宿の高層ビル街、神奈川にも。北関東でも汚染は進み、**昨年宇都宮の小学校でタケノコを取ってきたが、基準値を超えた線量なので食べられなかった**。最も親日的な国、台湾でさえ、**関東一円で収穫された農産物は輸入禁止措置をとっている**。これが世界の常識。
- 世界で見ると、太陽光発電や風力発電は**2011年の2.5倍に伸びている**。一方、原発の設備容量は横ばい。中国は世界の太陽光パネルの70~80%を生産。もともと太陽光パネルの量産は日本が先進だった。風力はヨーロッパが先進で、日本は力が入っていない。
- 自然エネルギーの値段はドンドン下がっている。NHKで2回放映されているが、**太陽光や風力発電は1kwあたり2円**。天然ガスが6円から7円、石炭が10円。**原発は20円から30円**。原発のゴミを10万年も保管なんて、どれくらいの費用が掛かるかわからない。原発のコストは無量大。
- ダイワハウスが住宅について5000ガルでも壊れないと言っている。過去最大が2008年の岩手の内陸地震で、4022ガル。活断層がないところでこうした地震が起きている。日本列島のどこでも起こりうる。原発は400ガルで壊れる。**一般住宅の10分の1で壊れる**。原発はパイプのお化けで、たくさんあるパイプが折れたらそこから漏れる。アメリカは地震が少ないからこの設計図で作ったのかもしれない。
- 新潟県は50万ボルトの送電線が4本もある。これだけの送電線があるのは**福島県と新潟県だけ**。田んぼの上3~4mにパイプを設置してパネルを貼り3分の1の太陽光で発電を行い、残りの3分の2の太陽光でお米を作ることができる（ソーラー・シェアリング）。**年収が10倍になる**。実験したら光合成の量は太陽光が減った方が増え、収穫は増えている。特に兼業農家はいい。東京へ行っている子供さんに戻ってもらえば**少子高齢化対策**になるし、子供が増えて**年金問題も解決**する。新潟県は大発展する。原発を止めても送電線の使用料が東京電力に入る。
- この話を原発賛成の人におっしゃっていただきたい。**原発賛成の人を説得していこうではありませんか。**

◎福島からの報告

- 福島第1原発から12km北にある南相馬市小高区は警戒区域に指定され、2016年7月に避難指示が解除されたが、2011年3月に1万2000人の住民が現在2800人に減少。帰還率は23%、高齢化率は50%超。（福島県内では今も4万000人が避難生活）原発事故以前の賑わいも、子供たちのさわぐ声も、スーパーもない。
- 福島県の災害関連死は2246人(8月30日現在)、福島県では原発事故による災害関連死が今も増え続けている。
- 愛媛に避難している孫は友達に「さよなら」も言えずに避難し、中学2年になって、作文を書いた。その一部を紹介。
「福島第1原発事故には地震と津波とは違う苦しみか隠されていた。『生き地獄』である」
- 3000か所のモニタリングポスト(放射能空間線量を測定)の8割撤去方針は県内各地から反対の声が上がり撤去が延期。
- 福島県民健康調査・甲状腺検査によると2018年6月末までに甲状腺がんは201人(うち疑いは37人)。
- 福島のごとは終わったこととして原発の再稼働、海外への輸出まで行おうとしている政府は許せない。私は被災地から発信し続ける。原発事故被災地を見に来てください。現状を見て感じたことを力に変えてください。ともに頑張りましょう。



福島県南相馬市
渡部チイ子さん

福島からのメッセージ

国に責任を認めさせるまで闘います

福島市在住 B さん

私の孫は原発事故が起きたとき、中学2年生でした。2年後（2013年）にあった初めての甲状腺検査で、孫はB判定と診断されました。その後、福島医大で何度か検診を受けていますが、昨年の秋の検査で「結節が二つ重なっている」と鈴木眞一教授から言われました。

そして、今年の3月に検査を受けたときには「結節が20ミリを超えている」と診断され、8月に細胞診をすることになっています。その結果次第では、手術をすることになるかもしれません。

当時、中学2年生だった孫は二十歳になりました。本人は、「絶対に切りたくない」と言っています。細胞診だけでも嫌な思いをしているのに、もし手術となったら、心にも大きな傷を負うことでしょう。

孫は、仕事もやっと決まったところです。以前、鈴木教授に「甲状腺の疑いのことを面接で言ったほうがいいんですか？言わないほうがいいんですか？」と聞いたら、「言わないでください」と言われました。ある会社の面接のときにちょっと話をしたところ、それが原因か分かりませんが、残念な結果になりました。

甲状腺がんは放射線のせいだということを認めてもらわないと、若い子たちはこれから生きていけません。私は国にきちんと認めさせるために、死ぬまで闘っていきたいと思います。

(SunRise No.17 (2018年8月発行) より)

原子力防災避難訓練に参加して

11月18日に上越市の原子力防災訓練が実施されました。対象は、UPZ（柏崎刈羽原発より5～30キロkm圏内に含まれる避難準備区域）の5128世帯、1万4526人（今年4月1日現在）です。今回バスによる避難訓練は、柿崎区の一部と吉川区の山間部の一部地域が対象です。（私は、吉川区に参加）

- 8:30 防災行政無線より屋内退避準備情報発表
「柏崎刈羽原発で事故が発生しました」
- 8:45 屋内退避指示
- 9:10 一時移転指示
「柏崎刈羽原発事故で放射能が放出しました」
一時集合場所「スカイトピア遊ランド」に集合



- 9:23 避難経路のくびき希望館に向け出発
(原発からグーグルMAPで約40km)
- 10:55 スクリーニングポイント候補地（いきいきコート）に到着
車両と避難者の放射線測定と除染が行われます。



(イメージ)

- 11:00 避難経路のくびき希望館へ
「安定ヨウ素剤」服用、被曝の説明を受け、「サーベイメータ」で放射線測定体験をしました。私は、56cpmでした。40,000cpmあると大変です。測定して下さっているのは、東電の社員さん。事故時は、市の指揮下で動かれるそうです。
- 12:00 訓練終了



お天気が良いので海も見えます。いい眺めです。ここが住めない場所になってしまわぬようエネルギーを分散させ、電気を大事に使っていきましょう。これ以上子供たちに発電後の核廃棄物を相続させないよう、大人頑張れ！



(山岸祐子)

第2回「九州電力の太陽光発電出力規制」

2018年10月13日九州電力は域内の一部の太陽光発電を一時的に止める「出力制御」を実施した。電力が余り過ぎたのである。九州電力と言えば再稼働第1号の川内原発と玄海原発を動かす電力会社で、電力の安定供給を掲げ再稼働を推し進めてきた会社だ。すでに電力は足りていたにも拘わらず再稼働を行い安定供給のバランスを崩してしまった。何とも皮肉な話である。この「出力制御」を制度化したのが経産省であり、政府の原子力発電擁護の姿勢である。北海道電力の地震による「ブラックアウト」も一極集中の発電体制が原因と言われている。

政府は今の独占型電力九社を維持しつつ原発の再稼働を実現することに血道をあげているようだが、それは日本の発展にとって阻害要因としか思えない。太陽光パネルもリチウム電池も5～6年前は世界の最先端を走っていた日本だが、いまは停滞が顕著。スマートシティ構想も夢のままで地方の衰退が進んでいる。企業の独占そして行政の中央集中の弊害は極めて大きいと言わざるを得ない。(北城町 高野)



私の思い



人類のより良い未来のために

馬場俊司 (妙高市)

かつて、戦争で領土を広げ人々の平和な日常を根こそぎ奪う時代があった。強い国は弱い国を搾取して当然だった。やがてある国際機関が設立され、平和と生命の尊重や地球環境など直面するさまざまな課題に取り組むようになった。私たち人類はそうやって過去の過ちの反省の上により良い未来を築き続けてきたのではないだろうか。

さて原発である。「神話」では安全のはずだったがメルトダウンした。経済性も電力の優位性も怪しい。信じた(信じ込まされた)人々のふるさと復興は一部地域では絶望的だ(住めない、帰れないから)。廃炉には気の遠くなるような時間とお金が必要だ。核のゴミの最終処分地も未定。無責任の極致。負の遺産の象徴。過ちや反省材料は挙げればきりが無い。これでもまだ原発を維持、再稼働するというのか。

国や電力各社には事故の検証と反省から未来を考えてほしい。人間の作り出した技術により住む所を強制的に奪われた彼の地の人々の無念に思いを致すべきだろう。核に「平和利用」なんてないことを我々は思い知ったはずだ。人類のより良い未来のためにこの際原発には退場していただく。

プロフィール 1958年妙高市(旧新井市)生まれ。会社員、地方公務員(図書館司書)を経て、現在地元の農業法人に勤務。趣味は読書、ウーキングなど。

出張勉強会 IN くびき

【日時】2018年11月11日(日)

【会場】頸城区コミュニティプラザふれあいサロン

【内容】ソーラーシェアリングについて(講演DVD鑑賞「原発ゼロで日本は再生する」城南信用金庫相談役・吉原毅さん、ほか)

◎「日照の少ない日本海側で出来るのか?」「雪が降っても大丈夫なのか?」など不安の声も上がりましたが、若い(30代、40代)農家からは「ぜひやりたい」「不安定な農業収入をこれで安定させたい」と力強い声も聞きました。

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表: 植木史将 (090-4962-9633)

フェイスブック、ホームページ、随時更新しています!

カンパ募集中です

当会は皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願いします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義: つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・伊弉(一

八)・普通預金・1316947

名義: つなげよう脱原発の輪 上越の会

きもの
小川

上越市本町7丁目3-22

TEL: 025-522-3400
e-mail: kimonoogawa@gmail.com
HP: kimonoogawa.com

open 10:00 ~ 18:00 (平日)
10:00 ~ 17:00 (日・祝)
不定休



きものお困りごと、何でもご相談ください。

みんなで作る「共助」のしくみ。震災後の日本で人間らしく生きる。

ドキュメンタリー映画

ワーカーズ
Workers
被災地に起つ

1/19(土)~1/25(金) 1週間限定上映 (火曜定休)

時間 1/19(土)~1/20(日) 14:30~上映 **1/19, 1/20は**
1/21(月)~1/25(金) 15:00~上映 **上映後トークあり**

高田世界館にて上映 ☎ 025 (520) 7626

◇編集後記◇

▼この会を通して原発の事を訴えても中々理解して貰えません。でも福島ツアーにお誘いしたら数名の参加があり、それが柏崎大集会に繋がりました。この輪が広がる事を望みます(m・n)